

1(金)

【演】第七回 中之島深夜寄席

中之島の川のほとり、北浜駅からすぐのワーキングスペース「中之島SPINNING」で、仕事帰りの落語会。出演は数々の受賞歴を持つ実力派、桂佐ん吉と桂ちよばの2人。落語会の終演後や休憩時間には、落語家さんとの写真撮影、握手、サインなどもOK、SNS大歓迎というフランクな会。事前予約無し、当日受付のみなので、ぜひ立ち寄ってみて。中之島SPINNINGが6月末閉館となるため、当会場では今回が最後の深夜寄席となる。中之島SPINNING2F受付・3F会場(北浜2-1-14)/①20:00②21:00※各回50分(2席)/①¥1500②¥700、①②通し¥2000(着物割引¥200引)/[問]info@lovethe-life.org



1(金)

【音】ヴィオラ、チェロ、ピアノのまどぎわコンサート

堺筋の瓦町交差点、村野藤吾設計のレトロビルに入る、創業81年の弦楽器輸入商「丸一商店」で、音楽教室講師によるお気楽演奏会を実施。堺筋に面したガラス張りの1階ギャラリーを開放し、窓際でヴィオラ、チェロ、ピアノの珍しい組合せで、耳なじみのあるメロディーを演奏(無料/子ども歓迎)。丸一商店1Fギャラリー(瓦町1-7-3)/①15:00②17:30/無料/☎06-6201-0044(日・月曜休)



1(金)~3(日)

【劇】劇団ほどよし「チェアー」

イズム所属の若手役者を中心に結成された劇団ほどよし第17回公演は、舞台のオーディションに挑む無名女優の奮闘記!ミュージカル「レディ・シラン」は、主演女優を一般公募する。一世一代のオーディションに挑む、その女。ウイークポイント、顔?人生は、椅子取りゲーム。誰かが座れば、誰かが立ちんぼ。劇中音楽は、アコースティックギターの生演奏。作・演出:大塚雅史 大阪市立芸術創造館(旭区中宮1-11-14)/1(金)19:00、2(土)①15:00②19:00、3(日)①13:00②17:00/¥3000/☎090-9629-6819



2(土)

【音】田畑裕美フルートリサイタル Vol.5

関西で活躍中の若手フルーティスト田畑裕美とピアニスト寺嶋千紘によるフルートリサイタル。シューベルト「[[しほめる花]]」の主題による序奏と変奏曲「[[6つの歌曲]]」は、荒涼とした景色に希望の光が射すような曲。少しジャズなフレーズもあるギーゼキング「ソナチネ」ほか。ムラマツリサイタルホール新大阪(淀川区西宮原2-1-3)ソラ新大阪21ビル1F/17:00/¥3000/☎06-7850-8848



2(土)・3(日)

【劇】第70回寺子屋トーク「道頓堀心中冥途往來」演劇公演&トークシンポジウム

應楽院寺町倶楽部主催、久々の寺子屋トーク。今回は演劇公演をあわせて開催。舞台は大阪・下寺町のとおるお寺。心中した若者を中心に生者と死者が行き交う艶笑喜劇。これを実際を下寺町のお寺である浄土宗應楽院にて上演。各回終演後に、仏教者および演劇人をゲストに招き、お寺と演劇についてトークシンポジウムを開催。脚本は観光家・陸奥賢。演出は戒田竜治(満月動物園)。浄土宗應楽院 本堂(谷町9丁目駅)/2(土)17:00、3(日)①11:00②16:00/¥3000/☎090-9696-4946(前田/10:00~19:00)



2(土)~25(月)

【演】1789ーバステューユの恋人たちー

民衆は貧困にあえぎ、貴族は贅沢に溺れる18世紀末のフランス。革命派に身を投じた農民のロナンは、マリー・アントワネットの侍女・オランプと運命的に出逢うが……。1789年7月14日、革命の火蓋が切られて落とされる。潤色/演出:小池修一郎、出演:ロナン(Wキャスト)=小池徹平/加藤和樹、オランプ(Wキャスト)=神田沙也加/夢咲ねね、マリー・アントワネット(Wキャスト)=風稀かなめ/龍真咲 新歌舞伎座(上本町6-5-13)/2(土)①18:00、3(日)・9(土)・16(土)・23(土)①12:00②17:00、5(火)・12(火)・14(木)・19(火)・21(木)①13:00②18:00、6(水)~8(金)・10(日)・13(水)・15(金)・17(日)・20(水)・22(金)・24(日)①13:00、25(月)①12:00※7(木)②18:00貸切、4(月)、11(月)、18(月)休演/S階¥13,500、A階¥8000/☎06-7730-2222(10:00~18:00)



7(木)~12(火)

【劇】空晴「となりのところ」

家族や親戚、ご近所さんなど近いからこそ煩わしい関係性を、大阪弁の会話劇で丁寧に笑いを交えて描いてきた空晴(からづばれ)。今回は隣同士に住む住人とその家族にスポットをあて「本音と建て前」の中にある「言っていない事・言わなくていい事」を通じ、自らの家族や友人関係を見つめなおす物語。HEP HALL(HEP FIVE 8階)/7(木)19:30、8(金)19:30、9(土)①15:00②19:00、10(日)①14:00②18:00★、11(月)19:30、12(火)①14:00★②19:00/¥3800(★の回は¥3300)/☎080-3112-3323



8(金)~21(木)

【演】文楽鑑賞教室

出演者による実演を交えた「解説 文楽へようこそ」と「二人三番唄」[絵本太功記]の二作品が楽しめる。12(火)・18(月)は18:30開演の「社会人のための文楽入門」(二人三番唄の上演はなし)、16(土)午後の部(14:00)は英語をまじえた解説で、外国の方にもおすすめの「Discover BUNRAKU」を実施。国立文楽劇場(日本橋)/①10:30②14:00※12(火)、18(月)は①14:00②18:30/¥3900(学生¥1300)/☎0570-07-9900(国立劇場チケットセンター)



9(土)

【音】絵本カフェ holo holo 音の小箱セルカン・イルマス ジャパンツアー in 大阪

ペノスアイレス在住のトルコ人ギタリストで、10弦ギターを操る超人セルカン・イルマスが絵本カフェ holo holo に登場!彼が作り出す音楽は、アルゼンチンやブラジルをはじめとする南米諸国の音楽のエッセンスはもちろん、彼の祖国トルコの音楽の根も随所に感じさせる。各方面で絶賛されている。そのクリエイティブかつ独特な音世界を間近に堪能しよう。絵本カフェ holo holo(難波中2-7-25)/19:00/¥2000/☎06-4396-8778



9(土)

【演】隅田川馬石を聴く会

兵庫出身で東京の落語会でも引く手あまたの人気若手落語家、隅田川馬石師匠の関西凱旋公演を今年も開催。江戸古典落語や人情噺を得意とする一方、豊かな表現力で描く人間味溢れる滑稽噺にも非常に定評がある実力派。今回は江戸落語の中でも長講の大ネタ「三軒長屋」を通してたっぷり堪能しよう。千日亭(千日前1-7-11 上方ビル3F)/18:00~20:00/¥3000/☎090-2705-9694



9(土)

【劇】こども劇場 演劇「学校ウサギをつかまえろ」

小学校の飼育小屋からウサギが逃げ出した!子どもたちが、ウサギを助けようと思いをしあい、ひとつになって奮闘する、ドラマチックな物語。まるで一緒にウサギを探している気持ちになるような、客席と舞台の一体感が魅力!出演:劇団うりんこ、原作:岡田淳、脚本・演出:田辺剛 大阪市立こども文化センター ホール(西九条 クレオ大阪西内)/15:00~16:00/大人¥1000、子ども(4歳~中学生)¥500、4歳未満は申込不可※要予約・当日支払/☎06-6460-7800



10(日)

【他】ATCシーサイドハワイアンフェスティバル2018

海とサンセットが望める大阪南港ATCで、毎年好評のハワイアンステージを開催。今回は人気の「ATCタヒチアンサンデー」。潮風を感じながら、南国ムードを存分に楽しんで。大阪南港ATC 海辺のステージ(トレードセンター前駅2番出口すぐ)/11:00~/無料/☎06-6615-5230

11(月)

【劇】ふたり芝居「家族熱」

伝説の向田邦子。晩年の名作が40年ぶりに「ふたり芝居」となって蘇る!「家族熱」は、1978年に放送された連続ドラマを原作とし、演出家・脚本家の合津直枝が脚色、演出を担当。原作ドラマから3年後という設定に翻案し、歳に近い義理の母と息子が「家族」という制約から解放され、秘めた思いを吐露することで、激しく揺れる心情を艶やかに描き出す。主演:ミムラ、清端淳平※終演後、アフタートークあり。近鉄アート館(あべのハルカス近鉄本店ウイング館8階)/19:00/¥6000/☎0570-023-300(チケットセンター)



21(木)・22(金)

【音】Chara「Shut Up And Kiss Me! ~Sweet Soul Sessions Supreme~」

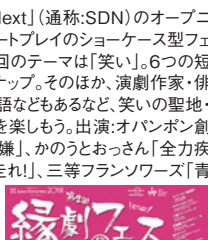
一貫して「愛」をテーマに曲を創り、歌い続ける、日本で唯一無二の女性アーティストCharaが、2年ぶりに精鋭バンドを引き連れて大阪のステージに登場!バンドはKeyboardのKan Sano、BassのMARTERに加入、Drumsに念願のFUYU、初のGuitarにSHO OGAWAと、まさにSupremeなメンバーでお届け。繰り出されるファンキーなグルーヴに、進化したサウンドでハスキーな歌声が溶け合う至極のステージを心ゆくまで楽しんで。ビルボードライブ大阪(ハービスPLAZA ENT B2F)/両日共、1stステージ18:30、2ndステージ21:30/サービスエリア¥8900、カジュアルエリア¥7900/☎06-6342-7722



23(土)・24(日)

【劇】第2回縁劇フェス

「Space×Drama×Next」(通称:SDN)のオープニングアクトとして、ショートプレイのショーケース型フェスイベントを開催。今回のテーマは「笑い」。6つの短篇演劇作品をラインナップ。そのほか、演劇作家・俳優による大喜利や落語などもあるなど、笑いの聖地・大阪でいろんな笑いを楽しもう。出演:オバンボン創造社「不愉快な上機嫌」、かのうとおさん「全力疾走!あのコンビニまで走れ!」、三等フランソワーズ「青い恋人たち」、芝居屋さんプロデュース「田口哲かたり芝居」、努力クラブ「タバタさんの車で連れていってもらう」、のぞみちゃん「死んじゃった同級生に恋をした女の子の話」 浄土宗應楽院 本堂(谷町9丁目駅/下寺町1-1-27)/23(土)14:00、24(日)11:00/¥3000(30枚綴りチケット)/短編1作品につき5枚、30枚綴り最大6作品観劇可/☎090-9696-4946(前田/10:00~19:00)



24(日)

【演】第1回「カクカタル」

~小説家×講談師の講談トークライブ~ 「敵の名は、宮本武蔵」[宇喜多の捨て嫁]で直木賞最終選考に2度残る、期待の時代小説家・木下昌輝と、ジャズ講談などをはじめ講談の新たな可能性を切り拓く講談師・玉田玉秀斎のコラボ企画。客席からのお題をもとに、制限時間内にそれぞれがショートショーを創作し、さらにその作品同士がコラボするという、挑戦的な即興ライブ、お見逃しなく!ティーハウス茶摩(天神橋筋六丁目駅/浪花町6-2 FleurArakawa2F)/14:00/¥2800(MUSICA TEA+ケーキ付)/☎06-6377-6778/25席限定・要予約

24(日)

【演】桂文華 入門三十周年独演会 ~おかげさまで~

三代目桂小文枝(五代目桂文枝)に入門してから、今年で30年を迎える桂文華の独演会。出演・演目は次の通り。桂華紋「寄合酒」、桂吉坊「足上がり」、桂文華「勘定板」「遊山船」「子は鏡」。クレオ大阪東 ホール(城東区嶋野西2-1-21)/14:00/¥3500/[問]bunka0714@nifty.com



25(月)

【音】18世紀ヨーロッパの響きが蘇る! 日本テレマン協会第252回定期演奏会

ベートーヴェン交響曲第7番とシューベルト「未完成」、モーツァルトのピアノ協奏曲を古楽器で演奏するコンサート。モーツァルトのピアノ協奏曲ではピアノの先祖「フォルテピアノ」を使用。国の重要文化財・大阪市中央公会堂でヨーロッパさながらの空間を堪能しよう。大阪市中央公会堂 3F中集会室/18:30~20:30頃終演/¥5000(25歳以下¥1000※身分証明書提示)/☎06-6345-1046(日本テレマン協会事務局 平日10:00~18:00)



28(木)

【音】懐かしい昭和の歌

関西で活躍するオペラ歌手によるコンサート。毎月タイトルを替え、昭和を代表する名曲の数々を再現。今月のテーマは、没後も根強い人気を誇る美空ひばり。平成元年6月に旅立った昭和最後の歌姫、美空ひばりを偲んで時代を彩った数々のヒット曲をお届け。曲目は、「愛燦燦」「悲しい酒」「真っ赤な太陽」など、出演は、末廣垂矢子(ソプラノ)、田中良和(テノール)、雷岡潤子(ピアノ)、森下知子(サクソ&オカリナ)。ホテルエルセラーン大阪 5F エルセラーンホール(堂島1-5-25)/14:00/¥2800/☎06-6633-6838

30(土)

【音】ヴァディム・ホロデンコ ピアノリサイタル

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールをはじめ、数々のコンクールで優勝!「最も才能のある現代のピアニストの一人」と評される、若き個性派ピアニスト、ヴァディム・ホロデンコの大坂での初リサイタル。目くらまほどの超絶技巧と息をのむ美しい音色で、オール・ショパン・プログラムを贈る。ザ・シンフォニーホール(福島)/19:00/全席指定¥4000/☎06-6453-2333(ザ・シンフォニー チケットセンター)



注 ※時間は開演時間、料金は当日券・大人料金を表記。公演内容は5月19日時点での情報です。内容の変更、チケット売り切れの場合もごさいますので、必ず事前にお問い合わせ下さい。笑…お笑い 劇…演劇 話…古典芸能 音…音楽 他…その他 踊…ミュージカル